

**PT. INDUSTRI KAPAL INDONESIA (Persero) (PT IKI)**

1977年10月に設立された国営造船所で、マカッサルのメインヤードの他、北スラウェシのビトゥンにもヤードを持つ。年間売上は2015年で1,150億ルピア（約4割が新造船）、2016年は1,600億ルピア、2017年目標は2,500億ルピアである。2015年の従業員数は227名、下請けが234名であった。

新造能力は最大10,000DWTで年間3隻までである。これまでの新造実績は、コンテナ船、漁船、旅客船／フェリー、貨客船、バージ、警備艇など計120隻である。インドネシア東部で唯一修繕を実施し、修繕能力は最大6,500DWTで年間128隻までである。漁船、ROROフェリー、貨物船、バージ、タグボート、タンカー、旅客船の修繕などに従事している。

2015年に、インドネシア運輸省からROROフェリー（750GT）1隻、コンテナ船（100TEU）2隻を受注し、前者は建造期間13か月で2016年12月に完成、コンテナ船は建造期間24か月で2017年3月に進水予定である。このほか、海洋漁業省からFRP漁船（10GT）12隻を受注し、2隻を2016年中に、残り10隻を2017年に完工予定である。なお、ROROフェリーの船価は400億ルピア（約3億5000万円）で、乗客数196名、設計は社内で行う。建造期間はおよそ13か月である。

表 3-26 PT IKI のマカッサルおよびビトゥンの造船所の設備

マカッサル	
乾ドック 10,000DWT	L120 m x B 28 m x H 8 m
スリップウェイ	1500TLC
サイトトラック	2 ライン x 300m 4 ライン x 80m 2 ライン x 70m
スキップリフティング（縦断スリップウェイ）	45m, 3500DWT
建造バース	6,500DWT x 4 5,00GRT x 10
艀装岸壁	800m, タワークレーン 60 トン
ビトゥン	
スリップウェイ	300TLC, L120m 1,500TLC, L190m 300TLC, L92m 3,000TLC, L200m
建造バース	200TLC , 24 X 30m x 2 ユニット 1,000DWT x 1 ユニット
浮き栈橋	1 ユニット

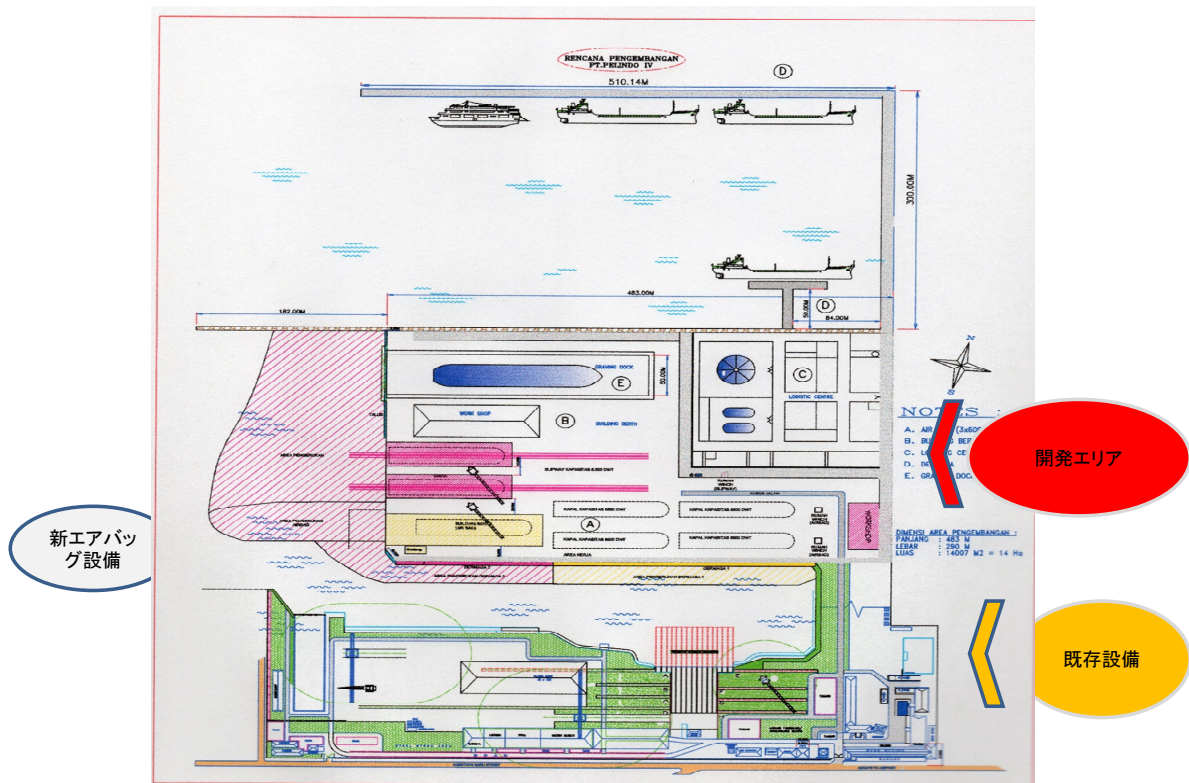
出典：PT IKI インタビュー

2012年の政府補助金（2億ルピア）で既存設備の改修を行い、2015年の政府補助金（1億5,000万ルピア）で、従来の土地の北側にエアバッグ式スリップウェイ（6,500DWT×2、350億ルピア）と20,000DWT対応可能な乾ドック（250m×50m、50 billion Rp）を来年中に整備する計画である。ただし、当該海域の水深が1メートルと浅いため、浚渫する必要がある。

図 3-32 PT IKI マカッサル造船所レイアウト模型 (現行)

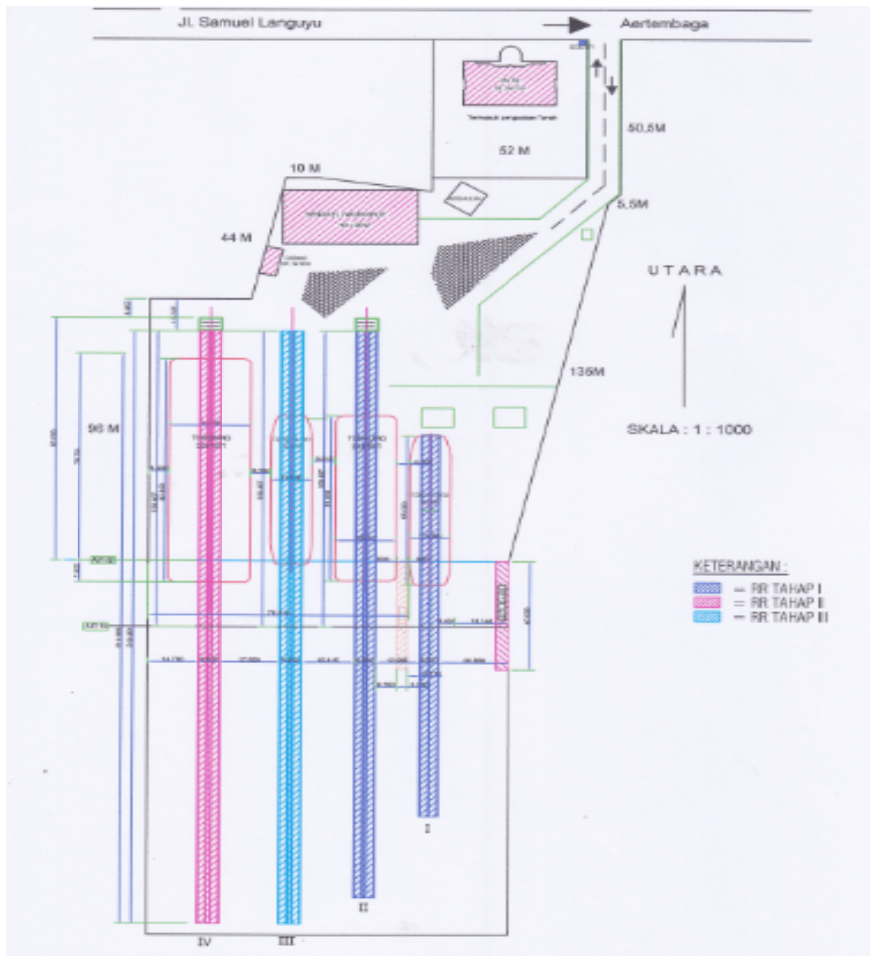


図 3-33 PT IKI マカッサル造船所レイアウト (将来計画)



出典：PT IKI プレゼンテーション資料

図 3-34 PT IKI ビトゥン造船所レイアウト（将来計画）



出典：PT IKI プレゼンテーション資料

図 3-35 PT IKI 造船所内の様子



建造中の 100TEU コンテナ船（運輸省海運総局発注）